

第6回（平成27年度）苫小牧市スポーツ推進審議会 議事録

日 時	平成28年2月19日（金） 18:00～19:00
場 所	市役所5階 第2応接室
出席委員	大村委員、斎野委員、須藤委員、田中委員、長岡委員、中村委員、本間委員、丸山委員 (敬称略、五十音順)
事 務 局	総合政策部 スポーツ推進室
会議次第	1 開会 2 総合政策部長挨拶 3 議事 (1) 「苫小牧市スポーツ推進計画（案）」全体を通して 【資料1】 4 その他 (1) 平成28年度予算について (2) スポーツ都市宣言50周年事業について 5 閉会

発言者	発言内容
事務局	<p>定刻となりました。委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから「第6回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を開催いたします。</p> <p>はじめに部長挨拶ですが、他の公務があり欠席させていただきます。</p> <p>ここで会議の成立についてご報告いたします。</p> <p>本日は、委員12人中、8人が出席されております。過半数以上の出席でございますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきますが、審議会条例の第4条第3項に従いまして、丸山会長に議長をお願いいたします。</p> <p>丸山会長、お願いします。</p>
丸山会長	<p>では、ここから私が進行をさせていただきます。早速ですが、次第3の議事に入ります。(1)「苫小牧市スポーツ推進計画(案)」全体を通してについて事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>苫小牧市スポーツ推進計画(案)についてご説明いたします。</p> <p>本日は、前回委員の皆様からいただいたご意見と、庁内検討委員会での意見を反映させたものをお配りしております。</p> <p>推進計画も、いよいよ大詰めとなってきましたので、本日もどうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、お手元の資料1に沿って説明させていただきます。</p> <p>変更した点について、ご説明いたしますが本文に影響がない細かい修正、訂正につきましては割愛させていただきます。</p> <p>資料の2ページのテーマについてですが、前回の審議会で決定しました字体に修正しております。</p> <p>次に、3ページ中段のスポーツ少年団の登録人数を、平成26年度の数字から平成27年度の数字に置き換えております。</p> <p>4ページの人口については、平成27年1月1日現在の数字になっておりますが、平成28年1月1日現在の数字に置き換えをすることで考えております。</p> <p>6ページの子どもの体力の現状については、平成26年度の調査結果を記載しておりましたが、平成27年度の調査結果が公表されましたので、平成27</p>

事務局	<p>年度の結果に置き換えて、上段説明文の4行目を「全国・全道の平均値を下回る」という文言から、「全道の平均値を上回る」に訂正しております。併せて、図6タイトルも年度を訂正しております。</p> <p>9ページの「図12観戦した、観戦してみたいスポーツ」の中で、10%のプロバスケットボールが11%より上位に入っていましたので入れ替えております。</p> <p>10ページのスポーツ推進委員の冒頭を、「市内八地区から、45人のスポーツ推進委員を選出して」としていましたが、「スポーツ基本法に基づき市より委嘱されたスポーツ推進委員は」に置き換えております。</p> <p>11ページのスポーツに関する情報の3行目と5行目、12ページのスポーツ施設の現状の2行目と8行目の終わりの「という結果になっています。」をそれぞれ「となっています。」に置き換えており、12ページの下から3行目中程の「建設から数十年経過」という言い回しでしたが「建設から年数が経過しており」に置き換えております。</p> <p>17ページの八地区スポーツフェスティバルの「主な実施種目」に運動会を追加しております。</p> <p>18ページの市民スポーツ祭の2行目、「体力づくり」を「体力つくり」に置き換えております。これは、国では体力つくりと表現していることから、それに合わせた形にいたしました。</p> <p>20ページの2段落目下から2行目も「体力づくり」を「体力つくり」に置き換えております。</p> <p>21ページは図23の基本理念「活みなぎる『スポーツ都市』とまこまい」の字体を変更しております。</p> <p>次に22ページから25ページに、第2章で整理した課題をそれぞれの目標に記載し、施策までのプロセスをわかりやすくいたしました。</p> <p>文言整理としましては、23ページの課題の下、1行目の体力つくり訂正したことと、当初「スポーツを楽しめるような場の提供をしていかなければなりません。」という文言を「スポーツに親しむには、身近にスポーツのできる場が必要です。誰もが安全で快適にスポーツを楽しむことができるように、」という言い回しにいたしました。</p> <p>26ページですが、「3関係部署との連携」の前に数値目標がありましたが、第4章の最後に入れ替えを行い具体的な施策、数値目標という流れにいたしました。</p> <p>29ページの「施策②高齢者・障がい者がスポーツを楽しむ機会をひろげます。」の最後に、「障がい者スポーツを「する人」、「観る人」が安心して参加できる体制づくりを推進していきます。」という文言を追加しております。</p>
-----	---

事務局	<p>30ページの3行目、「体育館の一般開放、」で区切っておりましたが、「一般開放を実施すると共に、」と追記しました。更に、同じ3行目で「運動ができる公共施設にニュースポーツ用具や」としていましたが、公共施設の後ろに「子どもから高齢者まで年齢や性別を問わず、誰でも取り組めるスポーツとして行われている」を追記いたしました。</p> <p>31ページの施策④の最後に、「また、本市が全国で初めてスポーツ都市宣言を行ったまちであることを、市民に知ってもらうために広く周知していきます。」と文言を追加しております。</p> <p>33ページの施策⑥に「スポーツ指導者」を追加し、文中にも追加しております。また、下から3行は、食の分野について追加で盛り込んでおります。</p> <p>34ページの3行目、「また、快適に」としていましたが、「また、全ての人が快適に」といたしました。</p> <p>35ページの施策⑧の上から2行について「民間事業者が実施する、行政や地域では補えない様々なサービスの提供や、スポーツを楽しむためのイベントに協力します。」と文言を追加しております。</p> <p>36ページの施策⑨の下2行に、前回の審議会でスポーツ少年団について記述した方が良いのではと意見がありましたので、スポーツ少年団について追加で盛り込んでおります。</p> <p>40ページの施策⑭の下から3行目に、「スポーツ都市宣言のまちとして選手を応援し、市民が選手と交流を行ったり」と文言を追加しております。</p> <p>41ページに、目標、方針、施策、主な事業を表にまとめてページを追加いたしました。</p> <p>42、43ページに、第3章に盛り込んでいました「数値目標の設定」を第4章の最後に入れ替えております。また、教育委員会から意見がありまして数値目標の6つ目に「児童生徒が運動をすることが好きになること」の目標値を追加いたしました。これは、毎年実施しています小学5年生と中学2年生を対象とした「全国体力、運動能力調査」項目から目標数値を設定しております。</p> <p>44、45ページは、前回の審議会で意見がありました「期待されます。」を「期待します。」に訂正しております。</p> <p>46ページは、(3)計画の進行管理の「苫小牧市スポーツ推進庁内検討委員会」の注釈を入れてはと前回審議会でありましたのでページ下段に記載いたしました。</p> <p>52ページに、43ページで追加しました児童生徒の数値目標の基データを追加しております。</p> <p>最後の55ページに審議経過を記載しておりますが、3月以降の日程についてはそれぞれ開催が決定した際に日ちちを入れていくことになります。</p>
-----	---

事務局	今後のスケジュールですが、再度庁内検討委員会を実施して本日の審議した内容を再度関係部署に確認して、3月末から1ヶ月間パブリックコメントを行い、パブリックコメントの意見を踏まえて5月に最終案を審議会でご審議いただきまして6月の議会に提出して、9月22日の推進計画の発行に向けた準備を進めていくこととなります。
丸山会長	「苫小牧市スポーツ推進計画（案）」の全体について説明がありましたが、ご質問等はございますか。
本間副会長	30ページの施策③に「ニュースポーツ用具や器具を配備し・・・」となっているが、具体的にどのようなスポーツのことを指しているのか。
事務局	現在、スポーツ推進委員が普及を進めている「フロアカーリング」を軸に進めていきます。他種目については、現在検討中です。
丸山会長	33ページに「プレーヤー」という表現が出てくるが、これまでは「選手」という表現だったと思うが何か違いはあるのか。
中村委員	「選手」という表現になると、競技者といった意味合いが強くなり、市民には当てはまらない気がします。そういった意味では、「プレーヤー」という表現のほうが市民に幅広く当てはまると思います。
丸山会長	そうですね、確かにここの表現だと中村委員のおっしゃるとり「プレーヤー」のほうが良いかもしれませんね。皆さんのご異論なければ、このまま「プレーヤー」という表現で行きたいと思います。
大村委員	P29の施策②「高齢者・障がい者がスポーツを楽しむ機会を広げます。」に入れるべきか、P33の施策⑥「スポーツ指導者やスポーツ推進委員、スポーツボランティアの活躍を推進しスポーツを支える輪をひろげます」に入れるべきか判断に迷いますが、障がい者スポーツについてはまだまだ指導員が足りていないのが現状であり課題ですので、「障がい者スポーツ指導員」の養成会、講習会などを盛り込むのはどうでしょうか。
事務局	大村委員のおっしゃる通り、全ての市民が快適にスポーツをする機会を作るという点で、障がい者の方にもスポーツを楽しんでいただくためにも指導者の養成は必要な事項と考えます。

事務局	<p>施策については、施策⑥に入れるのが望ましいかと考えていますが、今後の検討課題とさせていただきたいと思えます。</p>
丸山会長	<p>推進計画（案）について他にご質問なければ次に進みます。      続いて、次第4の「その他」、(1)平成28年度予算について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>別紙に平成28年度スポーツ推進室予算について示しております。</p> <p>1つ目に「スポーツ推進運営経費」として、1,078千円計上しております。2つ目に「スポーツ推進委員活動経費」として2,838千円計上しております。3つ目に「各種体育大会行事経費」として260千円計上しております。4つ目に「(公財) 苫小牧市体育協会補助金」として29,279千円計上しております。5つ目に、「各種体育大会助成金」として、3,324千円計上しております。6つ目に「町内会スケートリンク経費助成金」として377千円計上しております。7つ目に「スポーツマスター経費」として715千円計上しております。8つ目に「全道スポーツ大会開催運営助成金」として、1,050千円計上しております。9つ目に「小中高校生各種体育大会遠征費助成金」として、10,814千円を計上しております。10に「スポーツ合宿等助成金」として、5,533千円を計上しております。11に「国際少年アイスホッケー中学生交流事業費」として1,548千円を計上しております。この事業は、トヨタ自動車北海道(株)との協力で行っている事業で、隔年で苫小牧の選手団がカナダへ行き来し文化交流を図っています。</p> <p>12に「小学生低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会事業費」として、210千円計上しています。13に「全国高等学校選抜アイスホッケー大会補助金」として6,000千円計上しています。大会については次年度で11回目を迎えます。14に「氷上スポーツ育成事業費」として3,721千円計上しています。15に「地域スポーツクラブ支援事業費」として、65千円計上しています。こちらは、セガサミーホールディングス(株)と協力して行う、スポーツ教室についての事業費となります。16に「健康ウォーキング事業費」に395千円計上しております。17に「ナショナルトレーニングセンター運営事業費」として21,411千円計上しております。18に「スポーツ推進計画策定事業費」として1,246千円計上しております。19に「つなごうスポーツ大作戦」50周年事業費として、10,000千円計上しております。20に「第89回日本学生氷上競技選手権大会開催地補助金」として3,000千円計上しており、次年度苫小牧市でインカレを開催することとなります。21に「NPGA杯第6回全日本パークゴルフ大会2016開催地補助金」として500,000千円計上しております。</p>

事務局	<p>スポーツ振興費合計は 103,364 千円となります。</p> <p>次からは、スポーツ施設費となります。</p> <p>22 に「スポーツ施設管理運理経費」として 1,383 千円計上しております。</p> <p>23 に「スポーツ施設指定管理費」として 694,843 千円計上しております。24 に「スポーツ施設設備整備費」として 123,660 千円計上しております。具体的には、総合体育館屋根改修工事、ハイランド屋外リンク設備改修などを予定しております。25 に「市営野球場改修事業費」として 138,842 千円計上しております。具体的には、とましんスタジアム照明設備設置工事を予定しております。26 に「緑ヶ丘公園庭球場改修事業費」として、271,668 千円を計上しています。こちらも、平成 27 年度より 2 ヶ年計画でコート改修しており、平成 28 年 8 月末には全て完了予定、20 面の全天候型人工芝コートを有する施設となります。</p> <p>27 に「緑ヶ丘公園サッカー場改修事業費」として 4,500 千円を計上しております。</p> <p>スポーツ施設費合計として、1,234,896 千円を計上しており、総合計で 1,338,260 千円となります。</p>
丸山会長	<p>只今、平成 28 年度予算について説明がありましたが、この件に関してご質問等はございますか。</p>
斎野委員	<p>1 つ目に、スポーツ推進計画を策定したあとそれに伴う新規事業があるのかどうか教えていただきたい。</p> <p>2 つ目に、観光協会としても気になる部分ですが、合宿助成金が 5,533 千円と昨年に比べ減額していると思うが、これは実績に合わせた予算なのでしょう。もし年度途中足りなくなった際は、補正も可能か。</p> <p>3 つ目に、観光協会としても全国に合宿誘致をしていきたいと思っているが、インカレやパークゴルフ大会の他に大きな大会はあるのか。</p>
事務局	<p>1 つ目の質問ですが、平成 28 年度事業については、推進計画にのっとり既存事業についてより周知しながら取り組んでいくこと、新規としては 50 周年記念事業の中で様々な事業を実施していくが、この中で今後継続してできるものがあるかどうか検討していくことになるかと思えます。</p> <p>2 つ目の質問ですが、おっしゃる通り実績ベースで予算計上させていただきました。我々としても、合宿誘致については引き続き強化課題とさせていただきます、観光協会様とも力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。万がいち予算が足りなくなった際は補正措置をとらせていただきたいと思えます。</p>

事務局	3つ目の質問ですが、50周年事業の中でアイススレッジの国際大会が実施予定となっております。
斎野委員	我々観光協会、大会等誘致推進協議会としても、新しい合宿助成金補助制度についてはPR不足の点があったかと思しますので、上限2万円から10万円になった強みをもう一度周知して、今後も取り組んでいきたいと思います。
本間副会長	インカレ、全国高等学校選抜アイスホッケー大会、NPGA杯第6回全日本パークゴルフ大会2016の開催日程がわかれば教えてください。
事務局	インカレについては平成29年1月5日(木)～9日(月)、第11回全国高等学校選抜アイスホッケー大会は平成28年8月2日(火)～7日(日)、NPGA杯第6回全日本パークゴルフ大会2016については平成28年10月8日(土)～9日(日)となっております。
丸山会長	先程の合宿助成金補助制度については、8月度に北大側が主催するフェスティバルなどで使わせていただき、北海道学生連盟経由で告知したこともありますので、今後も全道、全国から様々な方たちに利用していただくためにも引き続きPRして行ってほしいと思います。  もう1つ質問ですが、スポーツ振興費の中には2020年のオリンピック関係の予算というものはないのですか。
事務局	オリンピックの名前で予算計上しているものは今のところありませんが、先程も出ました合宿助成金補助制度については、選手のオリンピックへの強化に繋げる目的もあり、中央競技団体(ナショナルチーム)については上限を200千円に設定しております。
丸山会長	ありがとうございます。 続いて、次第4の「その他」、(2)スポーツ都市宣言50周年事業について事務局から説明をお願いいたします。
事務局	前のご説明させていただいた内容と若干重なる部分があると思いますが説明させていただきます。 次年度スポーツ都市宣言50周年事業として行っていくのが「スポーツ大作戦～人と人、苫小牧の未来、次世代を担うこどもたちへ～」ということで、苫



事務局	<p>小牧市が行っている大作戦シリーズの1つの事業として行っていきます。推進計画内にもありますが、大きくスポーツを「する」「観る」「支える」の3つに分けた事業を考えています。</p> <p>サブテーマにあります、「人と人」というのは、スポーツを通じて地域住民相互の新たな連携をつくる、「苦小牧の未来」はスポーツを通じて豊かで明るい都市を築く、「次世代を担うこどもたち」はフェアプレイ精神を身につける、コミュニケーション能力を育むといった意味が込められています。</p> <p>また、「つなごう」といったテーマは、次年度行う事業について「観光」や「健康」、「ふくし大作戦」などスポーツだけでなく様々な分野と連携して行っていく、全体を巻き込んで取り組んでいく意味からもきています。</p> <p>続いて具体的な事業の説明ですが、「つなごう市民大運動会（仮称）」は新規事業となっており、苦小牧全市民を対象とした運動会を企画しております。日程は10月1日（土）、雨天の場合は2日（日）、場所は緑ヶ丘陸上競技場で行います。現在、運動会については運営組織を立ち上げている最中で、具体的にはスポーツ推進委員を軸としながら各地区（八地区）で実行委員を集め、3月に意見交換会を実施していく予定となっています。</p> <p>9月22日（木）秋分の日には、「スポーツ都市宣言50周年記念式典」を実施予定です。この日は「市民スポーツの日」となっております。中身については、スポーツ著名人の講演会やパネルディスカッションなどを実施します。</p> <p>「支える」という部分では、第58回北海道スポーツ推進委員研究協議会を10月27日（木）～28日（金）に実施します。全道より500名程度のスポーツ推進委員が苦小牧に集まり、意見交換、分科会などを行います。</p> <p>共催事業としては、先程も申し上げたとおり様々な分野と連携して行っていく予定で、「障がい者スポーツ」では車椅子バスケットボール交流会やアイススレッジホッケー交流会などを担当部署と連携して行います。</p> <p>また、美術館では11月12日（土）～約2ヶ月間、「スポーツ都市宣言50周年記念企画展～門脇松次郎と苦小牧のスポーツ～」を展示します。門脇松次郎氏はスポーツ都市宣言に尽力された人物で、苦小牧市のスポーツの歴史を振り返る企画となっています。</p> <p>合宿誘致という点からは、「アスリートフードマイスター」に着目し、スポーツ選手を「食」で支える取り組みを実施していきます。この部分は商業観光課が進めている「観光振興ビジョン」にも関わる部分でもあり、アスリートフードマイスターが監修した弁当を連携して開発する予定となっています。</p> <p>広告宣伝については、横断幕、懸垂幕、のぼり、記念ノベルティグッズの作成をしていきます。</p>
-----	---

事務局	<p>他団体主管事業としては、8月20日（土）に大相撲苫小牧場所を開催、10月22日（土）、23日（日）に女子バスケットボールWリーグ苫小牧大会（トヨタ自動車VSアイシンAW）を開催、さらにジャパンアイススレッジホッケーチャンピオンシップ（4カ国対抗）開催を予定しています。</p> <p>また、各競技団体には次年度実施大会名に「スポーツ都市宣言50周年記念〇〇大会」といった「冠」を付けられないか依頼しており、スポーツ都市宣言50周年を周知していけるよう取り組んでいます。</p>
丸山会長	<p>スポーツ都市宣言50周年事業について説明がありましたが、この件に関してご質問等はございますか。</p>
斎野委員	<p>この間、オリンピックの男子アイスホッケー予選もありましたが、以前はもっと苫小牧でも盛り上がっていたと感じる。アイスホッケータウンとして、もっと市民にアイスホッケーを周知する策があればと考えます。</p>
事務局	<p>王子のアイスホッケー部が創立90周年を迎えるにあたり、王子イーグルスと何か事業と絡めてできないか水面下で話を進めているところであります。</p> <p>事務局としても、アイスホッケータウンとして、苫小牧市を代表するスポーツチームにもっとスポットを当てていきたいと考えています。</p>
中村委員	<p>スポーツ推進委員の立場で言わせていただきますが、第58回北海道スポーツ推進委員研究協議会の2日目の分科会は駒澤大学で実施する予定となっておりますが、大学内のテニスコートにかなりの雑草が生えていて、全道から来苦するスポーツ推進委員に対して見た目が悪いので、何とかならないものか。</p>
丸山会長	<p>駒澤大学の立場から言わせていただきますが、構内の設備についてはいろいろと指摘されている部分もありますので、すぐに改善できるかはお答えできませんが、中村委員のご意見については大学内の担当部署に伝えさせていただきます。</p>
本間副会長	<p>アイススレッジの大会については、新ときわスケートセンターのように専用の設備が必要になるかと思いますが白鳥王子アイスアリーナでできるものなのか。選手としては、やはり白鳥王子アイスアリーナで実施したいと思います。</p>
事務局	<p>アイススレッジ専用の設備改修については、大会運営側が費用負担できる可能性もあるといったお話もいただいておりますが、どの程度の改修をするの</p>

事務局	か、また施設側ともどこまでやるのかを含めて、今後詰めていく必要があります。
丸山会長	他に全体を通して皆様から何かご意見、ご質問はありますでしょうか。特に無いようでしたら、これで終了させていただきます。それでは、進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。
事務局	丸山会長、ありがとうございました。 最後に、丸山会長におかれましては3月31日をもって駒澤大学での任期が満了になるということで、本審議会につきましても退任ということになります。 今年度の審議会は本日が最後となりますので、退任する丸山会長から一言ご挨拶をお願いしたいと思います。
丸山会長	このような大役をこれまで任せていただきありがとうございました。 自分自身もサッカー競技に携わっていることもありまして、皆様方の貴重なご意見含め、大変勉強になりました。 駒澤大学の方でも「スポーツを通じた青少年への育成」などのテーマについて学生と取り組んでいたところでした、苫小牧はいろいろな可能性があるまちであると日々感じておりました。 私事ではありますが、4月からは仙台市の短大で勤めさせていただき、震災後5年ということで次は、「再生」をテーマに学生を巻き込みながらいろいろな事にチャレンジしていきたいと思えます。 仙台市は苫小牧市とフェリーで繋がっているまちでもありますので、今後も陰ながら応援させていただきたいと思えます 皆さん短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。
事務局	丸山会長、約1年半の大役をお受けいただきまして誠にありがとうございました。 次回の審議会は5月を予定しております。詳細につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、宜しく願いいたします。 それでは、これをもちまして「第6回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を閉会いたします。

－ 終 了 －